

学長の業績評価について

平成30年12月11日
京都府立医科大学学長選考会議

京都府立医科大学学長業績評価規程に基づき、竹中 洋 学長の業績評価を行いましたので、その結果を公表します。

1 評価方法

学長業績評価規程第3条に基づき、①所信表明書等の達成状況、②年度計画の実施状況を確認するとともに、学長から選考時の所信についての自己評価をヒアリングにより聴取・確認を行った。

2 評価結果

所信表明の達成状況、年度計画及び中期計画（中間評価）の実施状況を確認したところ、京都府立医科大学の学長として、その職責を十分に果たし、大学運営・改革に努力し堅実に成果を挙げているものと評価できる。

（特記事項）

- ① 学長に就任後、強いリーダーシップを発揮して混乱していた大学の正常化を進め、コンプライアンスの推進や開かれた大学づくりなど、府民の信頼回復に努めた。
- ② 大学運営にあたり明確な説明責任を果たすよう努め、教職員や学生との意見交換の場を積極的に設けるとともに、学生評価の適正化や大学院保健看護学研究科博士後期課程の設置など、教育力の強化を図っている。

（参考）

○ 評価のスケジュール

3月12日（月）	評価手順の確認等 評価の公表案について
12月11日（火）	年度計画の評価状況について 学長ヒアリングの実施 評価の確定

○ 学長選考会議委員

阿曾沼 慎司（国立大学法人京都大学理事）
高崎 秀夫（株式会社京都銀行 代表取締役会長）
中井 敏宏（京都府公立大学法人 理事・事務総長）
北脇 城（京都府立医科大学副学長兼附属病院長 女性生涯医科学教授）
中川 正法（同 副学長兼附属北部医療センター病院長 同センター教授）
八木田 和弘（同 統合生理学 教授）